広報おだわら
ODAWARA PUBLIC INFORMATION

平成7年1月15日
January 15, 1995 No.643

発行：小田原市役所
〒250小田原市荻窪300番地
毎月1・15日発行
編集：広報広聴課（☎33-1261）

小田原城元旦マラソン
今年も健康でありますように

晴れ渡った元日の朝、小田原城周辺で元旦マラソンが行われました。スタートの旧城内スポーツレクリエーション広場に集まった四百五十五人が、市長の号砲を合図にいっせいに飛び出していきます。前回の自分の記録にチャレンジする人。小さな子供と声をかけ合って走る家族。マイペースで健康を楽しむお年寄り。今回は、目の不自由な人が伴走の人と手を取り合って走る姿も見られました。

一人ひとりが初春の空気を胸いっぱいに吸い込み、一年の健康を願いながら城下町を楽しく駆け抜けました。



青果市場に初市たつ
食卓に味覚と活気を

酒匂の公設青果地方卸売市場で五日、初市式が開かれました。恒例の万歳三唱に続いてセリが始まると、売り手と買い手の間で威勢のよいかけ声が飛び交い、全国各地から集まった約百八十一トンの青果が次々にセリ落とされていきました。

この卸売市場は、県西地域の拠点市場として昭和四十七年に開設され、現在では約四十万人分の台所をまかなっています。景気が低迷した昨年八月、販売開始時刻を午前九時から八時に早めたことで、市場には活気が戻ってきました。市場関係者は景気の回復を願いながら、今年も新鮮な青果を食卓へ届けようと、決意を新たにしました。



ページ	主な内容
2	ふれあいシルバーバスほほえみ号運行中・市長随想
3	財政状況の公表・まいたうんれぽーと
4 5	特集 お忘れなく確定申告を・歴史は時を超えて
6 7	きらめき情報・リサイクル情報・けんこうコーナー
8	市職員給与のあらまし・時の顔

広報おだわらは、資源保護のため再生紙を利用しています。

高齢者と障害者を送り迎え

ふれあいシルバーバス ほほえみ号運行中

ふれあいシルバーバス「ほほえみ号」をご存じですか。このバスは昨年九月、小田原市が全国に先がけて始めた高齢者や障害者の皆さんのための送迎サービスです。

市内の各地域から、社会福祉センター、生きがいふれあいセンターいそしぎ、それに市役所の三つの施設に皆さんを送り迎えします。最寄りの停留所と運行時刻をよく確かめて、お気軽にご利用ください。

●**乗車できる方** 市内にお住まいで、福寿手帳をお持ちの六十歳以上の方と障害者手帳をお持ちの障害者の方。介助を必要とする場合は介助人も同乗できます。

●**乗車の制限** バスに乗ってから各施設（各センターまたは市役所）に着くまでは途中の停留所で降りられません。また、帰りのバスには各施設以外の停留所から乗ることができません。

●**乗るときは** バスの乗務員に福寿手帳か障害者手帳を見せ、一人一回につき百円の運賃をバスの運賃箱に入れてください。

●**運行コース** 橘地域、川東北部地域、桜井・富水地域、片浦地域を起点・終点とする五コースです。

●**運行日数** 祝祭日と年末年始を除いて、月曜日から金曜日まで各コースにつき週一回運行します。

●**運行時間**
○行き…各コースの起点を午前九時に出発
○帰り…起点となる施設を午後三時に出発

●**利用上の注意**
○発着時刻は、交通事情によって多少ずれることがあります。
○一般路線バスと区別するため、バス前部に「ふれあいシルバーバスほほえみ号」と書いた幕を付けてあります。
○各停留所には「ふれあいシルバーバスほほえみ号停留所」と書いた表示板を立ててあります。
○車いすでは乗車できません。

●**問い合わせ** 高齢福祉課☎㉝1841

ふれあいシルバーバス
ほほえみ号 運行時刻表



1コース（月曜日）

停留所名	往路	復路
橘支所	9：00	15：56
広済寺入口	9：04	15：52
橘団地公民館入口	9：08	15：48
坂呂橋	9：10	15：46
明澤児童館前	9：12	15：44
沼代入口	9：15	15：41
一徳寺前	9：20	15：36
いそしぎ	9：30	15：26
市役所	9：53	15：03
社会福祉センタ	9：56	15：00

2コース（火曜日）

停留所名	往路	復路
曽我大沢公民館前	9：00	15：38
上曽我公民館入口	9：02	15：36
中河原交差点	9：04	15：34
三島神社前	9：07	15：31
高田公民館前	9：09	15：29
いそしぎ	9：20	15：18
社会福祉センター	9：35	15：03
市役所	9：38	15：00

3コース（水曜日）

停留所名	往路	復路
桜井保育園前	9：00	16：06
桜井支所前	9：06	16：00
山道橋	9：14	15：52
久所入口	9：17	15：49
楠坂入口	9：19	15：47
諏訪原公民館前	9：25	15：41
船原公民館前	9：28	15：38
市役所	9：48	15：18
社会福祉センター	9：51	15：15
いそしぎ	10：06	15：00

4コース（木曜日）

停留所名	往路	復路
農協江之浦事業所	9：00	15：50
寺山神社前	9：06	15：44
米神	9：10	15：40
石橋	9：14	15：36
社会福祉センター	9：24	15：26
市役所	9：27	15：23
いそしぎ	9：50	15：00

5コース（金曜日）

停留所名	往路	復路
春木団地集会所	9：00	15：53
曽我駐在所前	9：05	15：48
西大友保育園前	9：07	15：46
東大友公民館前	9：09	15：44
小田原球場南口	9：10	15：43
桑原公民館前	9：15	15：38
中曽根交差点前	9：17	15：36
市役所	9：35	15：18
社会福祉センター	9：38	15：15
いそしぎ	9：53	15：00

農業の統計調査
農業の発展のために

農業の国勢調査といわれる農林水産省の「一九九五年農業センサス」が、全国一斉に実施されます。この調査は、国の農業の最も基本的な統計調査で、その結果は、国はもちろん、県や市の農業行政など地域社会の発展に欠くことのできない資料となります。

対象となる方には、統計法によって、調査票への記入とその提出が義務付けられています。提出された調査票は、統計法に定められた目的以外に使うことが禁じられており、記入された内容は完全に保護されます。安心してご記入ください。

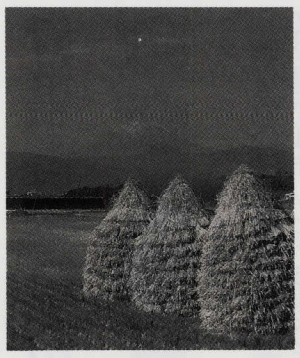
●**調査の対象** すべての農家、農業を営む事業体、農業サービス事業体

●**調査基準日** 二月一日現在

●**調査の方法** 一月中旬から下旬にかけて、県知事から任命された統計調査員が農家世帯や対象事業所を訪問します。調査票は、後日回収にうかがいます。

●**問い合わせ** 行政総務課☎㉝1295／神奈川県統計課☎045（201）1111

農業体験学習会
くらしに花を



県の「くらしに花を」運動の一つとして、市では、農業体験学習会を開きます。花と楽しくふれあう一日です。どうぞご参加ください。

●**日 時** 二月八日(水)午前九時三十分から午後三時三十分まで

●**集合・解散** 小田原駅西口

●**行き先**
・市内花き栽培農家二軒
・梅の里センター

●**内 容**
・バラ栽培現地見学
・花の利用法の講演会
・鉢植え体験実習
・生産者との交流会

●**定 員** 四十人

●**費 用** 無料（昼食と実習材料などは事務局で用意）

●**申し込み** 農政課農林振興係☎㉝1494（一月十七日から受け付け・定員になり次第締め切り）

市長随想
二十万人

文 小澤吉明

今年は小田原市にとって記念すべき節目の年である。北条早雲が小田原に入って五百年、終戦五十年、統一地方選挙施行、人口二十万人突破、等々である。特に人口はここのところ順調に増加し、二十万人にあと数百人を残すのみとなっていて、春先には二十万人目の市民を迎えることができそうである。

「だから何なの?」と言われそうであるが、〝おだわら21世紀プラン〟で、西暦二〇〇〇年に二十二万人を目標としている本市としては、二十万人をいつ超えるかが、ある意味では計画達成の一つのメルクマールとなる。

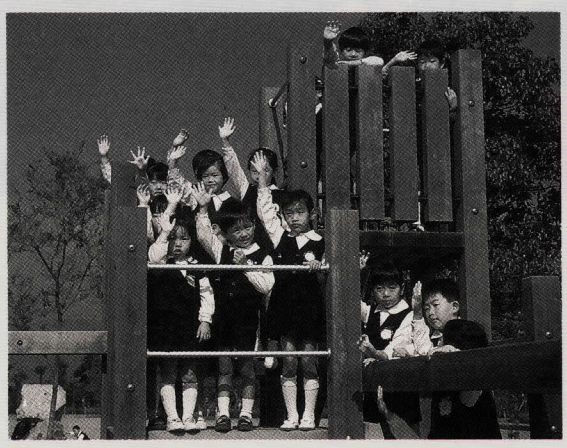
いずれにしても、ここ数年来、茅ヶ崎、厚木、大和の各市に次々と人口で追い越されつつあった本市が、ようやく二十万人超組の仲間入りが出来ることに、市長としても個人的にも、ホッと一息というのが本音なのである。

現在の日本の総人口は一億二千三百万人余、ある推計によると、ピークは二〇一〇年で、約一億三千万人になるという。

今、三千三百余ある全国の地方自治体が、それぞれ活性化即ち人口増、という図式で、激烈な都市間競争を展開し、住み良い、個性的なまちづくりに勤しんでいる。その殆どが人口減、過疎化で苦闘している中で、短絡した言い方であるが、あと僅か十五年という短い期間に、たった七百万という増加人口が、どのまちに、どのようにハリ着くのか、いわば奪い合いで、その成否をかけてそれぞれの自治体が力くらべ、智恵くらべの真っ最中なのである。

県下でも市街化区域率が最低で、城下町のためか、比較的に地価が高めに推移しているということや、長い景気の低迷という悪条件の下での人口の堅調な伸びや二十万人達成という事実は、バブルがハジけて厳しい市財政の中で、まちの活性化を目指して必死で取り組んできた私としては、どう言われようと嬉しいし、目目度いことなのである。

そこで、二十万人目の幸運な市民の歓迎とお祝いの仕方に思案をめぐらすとともに、心機一転、活性化に弾みをつけたいと、今いろいろと考慮中で、乞うご期待なのである。



広報 おだわら
ODAWARA PUBLIC INFORMATION

財政状況の公表

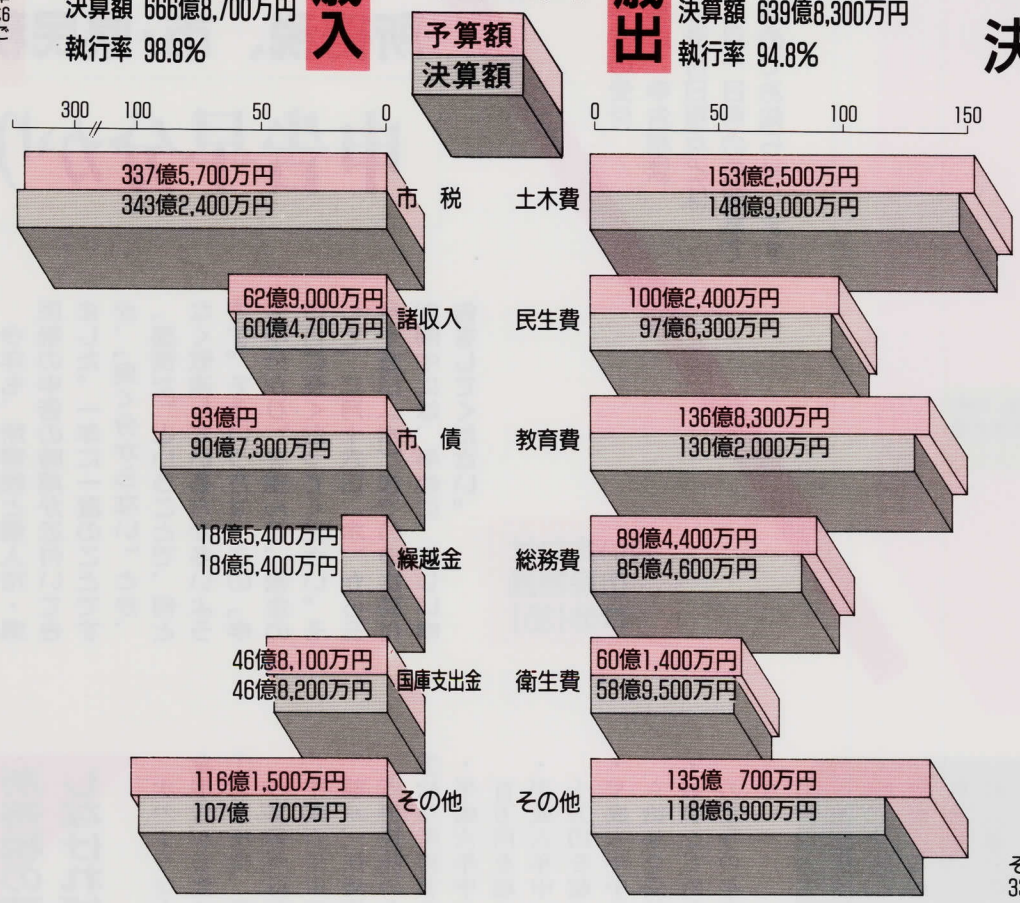
平成5年度 決算の概要

市の財政状況は、半年ごとに公表しています。平成5年度の決算は次のとおりです。金額が大きいので、100万円単位でご紹介してあります。また、平成6年度上半期の報行状況は、財政課でご覧になれます。
●問い合わせ　財政課☎㉝1311

一般会計

歳入
予算額 674億9,700万円
決算額 666億8,700万円
執行率 98.8%

歳出
予算額 674億9,700万円
決算額 639億8,300万円
執行率 94.8%



歳入

自主財源
471億8,900万円

市税・分担金及び負担金使用料及び手数料・財産収入・寄附金・繰入金・繰越金・諸収入
構成比＝70.8%

依存財源
194億9,800万円

構成比＝29.2%
地方譲与税・利子割交付金・ゴルフ場利用税交付金・自動車取得税交付金・地方交付税・交通安全対策特別交付金・国庫支出金・県支出金・市債特別地方消費税交付金

歳出

投資的経費
215億9,500万円
(33.8%)

人件費
141億8,300万円
(22.2%)

物件費
73億1,800万円(11.4%)

扶助費
52億2,500万円(8.2%)

繰出金
50億2,400万円(7.9%)

補助費等
34億600万円(5.3%)

公債費
39億2,600万円(6.1%)

その他
33億600万円(5.1%)

◎市債の状況　総額993億6,500万円

一般会計	395億　400万円	企業会計	166億4,600万円
教育債	138億3,900万円	水道債	105億9,000万円
土木債	130億7,200万円	病院債	60億5,600万円
衛生債	40億4,600万円	特別会計	432億1,500万円
公営住宅債	15億6,600万円	下水道債	406億　400万円
その他	69億8,100万円	簡易水道債	14億3,900万円
		その他	11億7,200万円

◎市民の負担と持分

	1人当たり	1世帯当たり
市税	174,364円	509,001円
長期借入金	504,770円	1,473,515円
市有財産	861,454円	2,514,740円

人口　196,852人
世帯　67,434世帯
(平成6年3月31日現在住民基本台帳調)

◎競輪収益金の使途状況　平成5年度収益金総額33億円

土木費	22億円	教育費	6億円
道路整備事業	18億3,100万円	社会教育施設整備事業	3億3,200万円
河川整備事業	2億5,000万円	義務教育施設整備事業	1億8,400万円
市営住宅建設事業	7,100万円	文化財整備事業	8,400万円
公園整備事業	4,800万円	繰出金	3億円
農林水産業費	1億円	下水道事業	3億円
農道等整備事業	7,300万円	衛生費	1億円
漁港整備事業	2,700万円	保健衛生施設整備事業	1億円

◎企業会計〈水道会計〉

区分	予算額	決算額
収入	51億7,700万円	47億5,500万円
支出	60億8,900万円	54億6,900万円

概要	給水戸数	給水人口	給水量
	59,739戸	177,046人	23,806,252㎥

〈病院会計〉

区分	予算額	決算額
収入	97億5,900万円	98億6,400万円
支出	103億5,300万円	103億3,600万円

利用者数	区分	延患者数	1日平均
	外来	413,465人	1,578人
	入院	147,044人	403人

◎特別会計

会計名	決算額	
競輪会計	歳入	346億6,200万円
	歳出	333億5,900万円
天守閣会計	歳入	1億6,700万円
	歳出	1億1,200万円
下水道会計	歳入	138億2,100万円
	歳出	134億2,200万円
国民健康保険会計	歳入	93億2,500万円
	歳出	89億2,400万円
国保診療施設会計	歳入	4,800万円
	歳出	4,200万円
交通災害共済会計	歳入	7,300万円
	歳出	7,200万円
卸売市場会計	歳入	2億3,300万円
	歳出	2億2,500万円
老人保健会計	歳入	93億7,300万円
	歳出	93億5,700万円
簡易水道会計	歳入	8億　600万円
	歳出	7億8,200万円
体育館用地取得会計	歳入	27億8,900万円
	歳出	27億8,900万円
成田・桑原土地区画整理事業会計	歳入	80億　500万円
	歳出	79億8,000万円

市民レポーターの目

まいたうんれぽーと ㊸

かもめ図書館

広報レポーター　加藤元子（酒匂在住・28歳）

県下で三番目の広さを誇る小田原市立かもめ図書館。みなさんはもう利用されましたか。

今回は、八月一日のオープンから四か月になる「かもめ図書館」を訪れ、館長の小泉さんにお話をうかがいました。

現在、一般公開図書として七万冊が用意されていますが、十万冊までの収納が可能だとのこと。それでも、図書館の広さにしては、その数は多くはないそうです。これは、映画会や人形劇が楽しめる視聴覚ホール、集会や展示会のできる集会室など、図書部門以外のさまざまな機能が充実しているからです。

毎月開かれる映画会や絵本の読み聞かせなどは、とても盛況だそうです。さらに、これは小田原の図書館の特徴とも言えますが、夏休みには創作室で理科教室や美術教室を開くなど、児童館のような機能も持っています。

◇　◇　◇

オープンから四か月たった現在、この素晴らしい図書館にも少し問題が出てきているようです。

かもめ図書館は、貸出機能の充実に力をおいています。そのため、いわゆる学習室というものがなく、また、児童書部門と一般書部門が壁で仕切られていないので、子供たちの声が少々騒がしいという苦情が出ているのです。これが、今のところ館長さんはじめ職員の方々の悩みの種のようです。館内のところどころに張られた「静かに」の紙が、このことを象徴していたように思います。



小さな子供を持つ母親にとっては、幼児が寝転んだり座ったりして、自由に本が読める「こどもクラブ室」があり、また、一般図書コーナーから児童図書コーナーにいる子供の様子が分かるなど、うれしい施設なのです。しかし、他の利用者の方のことも考えて、「静かにする」という最低限のルールは守らなければ、と強く思いました。

小泉館長からは、「末永く利用していただくために、モラルを守ってほしい」ということと、「成人の利用者の方は、かもめ図書館の特徴を理解していただき、騒がしいときも少しだけ目をつぶってほしい」というお願いがありました。

◇　◇　◇

建物の中は、明るくて広々と開放的な雰囲気で、みんなが気軽に利用できる身近な図書館という印象でした。それは、「オープンから二か月間の貸出者数が三万二千五百七十三人。入館者はその倍以上でしょう」ということからも分かります。

丹沢山系と箱根連山の山並みをモチーフとしたおおらかな外観。吹き抜けのある広々とした部屋。光のあふれる素晴らしいかもめ図書館を、私たちの図書館として、いつまでも気持ちよく使えるようにしたいものです。それは私たちの心掛け次第なのかもしれません。

お忘れなく、確定申告を

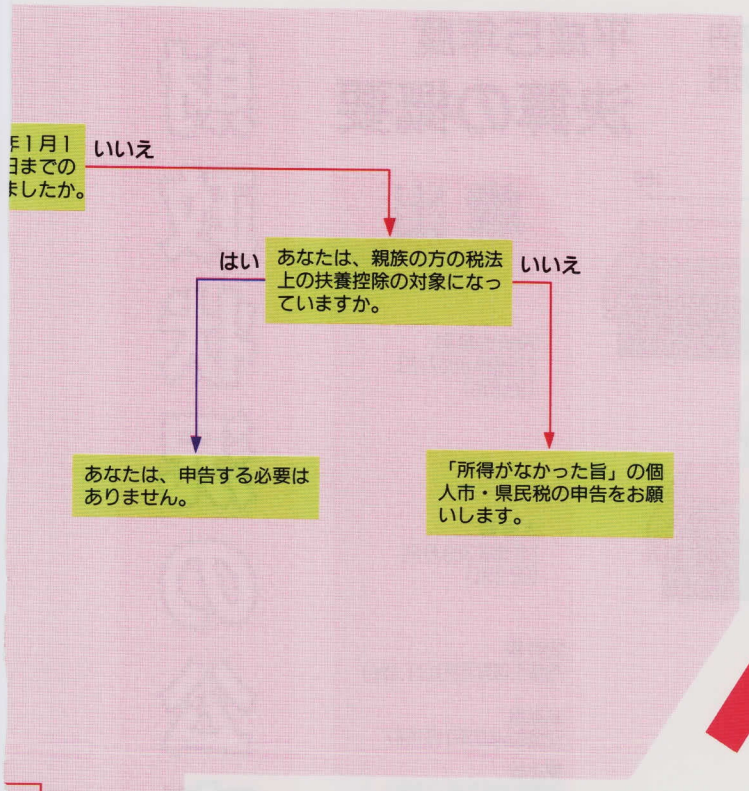
申告受付 2月16日～3月15日

所得税、市・県民税
申告早分かり

今年も、所得税と個人市・県民税の申告の時期が近付いてきました。一年に一度のことですが、「良く分からない」とか、「面倒だ」ということで、何となく敬遠している方が多いようです。そういう方は、この「申告早分かり」を読んで、税金の申告に強くなってください。そして、二月十六日（木）から三月十五日（水）までの申告受付期間中には、早めに、正しい申告をしてください。

問い合わせ 市民税課 ☎㉝1351

●申告の受付場所、申告相談の受付日程などは二月一日号の広報紙で改めてお知らせします



所得税の確定申告をしなければならない人

次のような人は、所得税の確定申告が必要です。

①営業所得、農業所得、その他の事業所得などがある人で、平成六年中の所得金額の合計額が、扶養控除などの各種の所得控除の合計額を上回る人

②給与所得者で、次のような人
・平成六年中の給与収入が千五百万円を超える
・平成六年中に、給与以外に二十万円を超える所得があった
・平成六年中に、二か所以上から給与を受けた
・退職などのため、平成六年中の給与の年末調整が済んでいない
・平成七年一月一日現在の年齢が六十五歳以上で、年金の受給金額が二百六十六万六千六百六十七円以下
・平成七年一月一日現在の年齢が六十五歳未満で、年金の受給金額が百四万円以下

平成六年中に所得がなかった人でも、税法上の扶養控除の対象になっていない方は、「所得がなかった旨」の申告をお願いします。これは、所得証明書や非課税証明書の発行資料、老齢福祉年金、児童手当、国民健康保険料などの判定資料となります。

医療費控除や住宅取得等特別控除などの、年末調整で受けられなかった所得控除を受けるときも、確定申告（還付申告）が必要です。この還付申告は、確定申告の受付期間前でも申告書の提出ができますので、お早めにどうぞ。

なお、年末調整が済んでいない人や、退職所得のある人は、確定申告をしなければ、「所得税の特別減税」を受けることができません。

個人市県民税の申告をしなければならない人

平成七年一月一日に小田原市に住所があり、平成六年中に所得があった人は個人市・県民税の申告をしなければなりません。

ただし、次のいずれかにあてはまる人は、申告の必要がありません。

①税務署に確定申告をした
②平成六年中の所得が給与だけで、勤務先から市役所に「給与支払報告書」が提出されている
③公的年金だけの受給者で、次のいずれかにあてはまる

平成六年中に所得がなかった人でも、税法上の扶養控除の対象になっていない方は、「所得がなかった旨」の申告をお願いします。これは、所得証明書や非課税証明書の発行資料、老齢福祉年金、児童手当、国民健康保険料などの判定資料となります。

申告に必要なもの

①申告用紙
②所得の明細書（源泉徴収票、雇用主の給与支払証明書、収支の明細書など）
※所得税の還付申告の場合には、源泉徴収票の原本がないと還付を受けることができません。
③所得から差し引かれる各種控除の領収書など
・医療費控除については、医療費の領収書
・国民健康保険料などの社会保険料、生命保険料、損害保険料は、お手元に届いている支払金額の証明書
・障害者控除は、障害者手帳、療育手帳、福祉事務所長の証明書など
④印鑑
⑤口座振替で所得税の還付を受ける人は、預金通帳などの口座番号が分かるもの

申告用紙

①所得税の確定申告書
一月下旬に税務署から郵送されます。初めて申告する場合や用紙が郵送されない場合は、税務署と市役所に用意してある用紙をご利用ください。

②個人市・県民税の申告用紙
二月上旬に市役所から郵送します。申告が必要なのに用紙が届かないこともありますので、そのようなときは、市役所のほか、支所・連絡所や小田原駅前ふらっとスポットに用意してありますので、ご利用ください。

一口メモ



①「確定申告」というのは、所得税の申告についての用語です。

②「還付申告」というのは、所得税の申告をすることによって、税金が還付されることです。

③「医療費控除」というのは、一年間（一月一日～十二月三十一日）に支払った医療費から差し引かれる（保険金などで補てんされる場合）などを要しない場合）

また、かかった医療費を補うために給付を受けた療養費、家族療養費、出産手当金や医療保険金などの金額は、支払った医療費から差

一口メモ

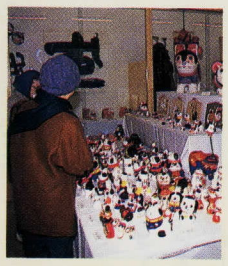
第37回市民劇場 NHK交響楽団メンバーの 名曲コンサート



大林修子さんをソリストに迎え、ヴィヴァルディ「四季」など数々の名曲をお送りします。

●日時 3月10日㈮ 午後6時30分開演
●会場 市民会館
●入場料 指定席2000円・自由席1000円
●前売り 市民会館事務室、志澤デパートチケットセゾン、おだちかインフォメーションで、20日㈮午前10時から。
＊未就学児の入場はご遠慮ください。1回でお求めになれるチケットは1人5枚までです。
＊この公演は「小田原市ふるさと文化基金」の利子を活用しています。
●問い合わせ 市民会館 ☎㉒7146

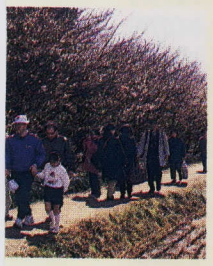
郷土文化館の特別展 干支にちなむ亥展



干支の亥（いのしし）に関する美術品・民俗資料などを展示します。

●期間 1月28日㈯～2月19日㈰（月曜日、1月31日、2月11日は休館）
●時間 午前9時～午後5時（入館は4時まで）
●会場 郷土文化館
●入場料 無料
●問い合わせ 郷土文化館 ☎㉓1377

小田原梅まつり 梅の里さんぽ



●期間 2月1日㈬～28日㈫
●会場 曽我の梅林（別所・原・中河原会場）、小田原城址公園
●もよおし
○曽我の梅林 野だて、寿獅子舞、流鏑馬、小田原ちょうちん踊り、短歌大会ほか
○小田原城址公園 野だて、梅の盆栽展、俳句大会ほか

歴史は時を超えて

城下町小田原 ⑩

小田原文学館長
郷土史家
三津木 國輝

交通の発達

江戸時代の交通は主に馬、駕籠、徒歩であったが、宿駅制度が廃止された明治五年（一八七二年）ころには、この地方にも人力車が登場し、近郷の町村を結ぶ交通機関となった。

明治十二年（一八七九年）には、神奈川（横浜市内）と小田原を結ぶ乗合馬車が通るようになった。しかし、定員六人（十二人まで乗車できる）では、その営業もわずかなものであった。

明治二十年（一八八七年）七月十一日、岡蒸気と言われた東海道幹線鉄道が国府津まで延び、小田原地方の人々を大いに喜ばせた。しかし、国府津から海岸を通って箱根山をトンネルで貫くことは、当時の鉄道技術では無理なことであった。そのため、幹線鉄道の計画は、国府津から小田原に入るのを避け、松田、御殿場を経て沼津に通じるものであった。

江戸時代には、天下の嶮箱根を控えた東海道の主要な宿場町として栄た小田原の町民にとって、この計画は大きなショックであった。

そこで廃藩以後、沈滞した小田原の町を復活させようとする願いを込めて、国府津から小田原、箱根方面への私設鉄道の敷設が計画された。明治二十一年十月一日、国府津～小田原～湯本に、延長十二・九キロメートルの馬車鉄道が開通した。

当時歌われた鉄道唱歌にも

国府津おりれば馬車ありて
酒匂小田原遠からず
箱根八里の山道も
あれ見よ雲の間より

と歌われ、馬車鉄道は年間二十万人以上の乗客を運び、この地方に大きく貢献した。しかし、なにせ馬が客車を引く鉄道であったので、種々の問題もあり、明治三十三年（一九〇〇年）三月二十一日には、馬車鉄道は電気鉄道となった。これは小田原電気鉄道と呼ばれ、京都、名古屋、川崎に次いで、日本で四番目に敷設された電車であった。そして、その軌道距離は当時の日本最長であった。

また、小田原から熱海方面に通じる交通機関として、明治二十九年（一八九六年）三月十二日、小田原～熱海間に、延長二十五・九キロメートルの豆相人車鉄道が開通した。この鉄道は、軌道の上に客を乗せた車両を人（車丁）が押して行くという、ごく原始的な変わった鉄道であった。

しかし、明治三十九年十月には、人に代って軽便鉄道と呼ばれる小型の蒸気機関車が登場し、人車鉄道の時代には、小田原～熱海間を約四時間かかったものが、二時間三十分ほどで走ることができた。これらは、明治・大正期にかけて約三十年間、小田原～熱海間の交通機関として、熱海線の開通まで大いに利用された。

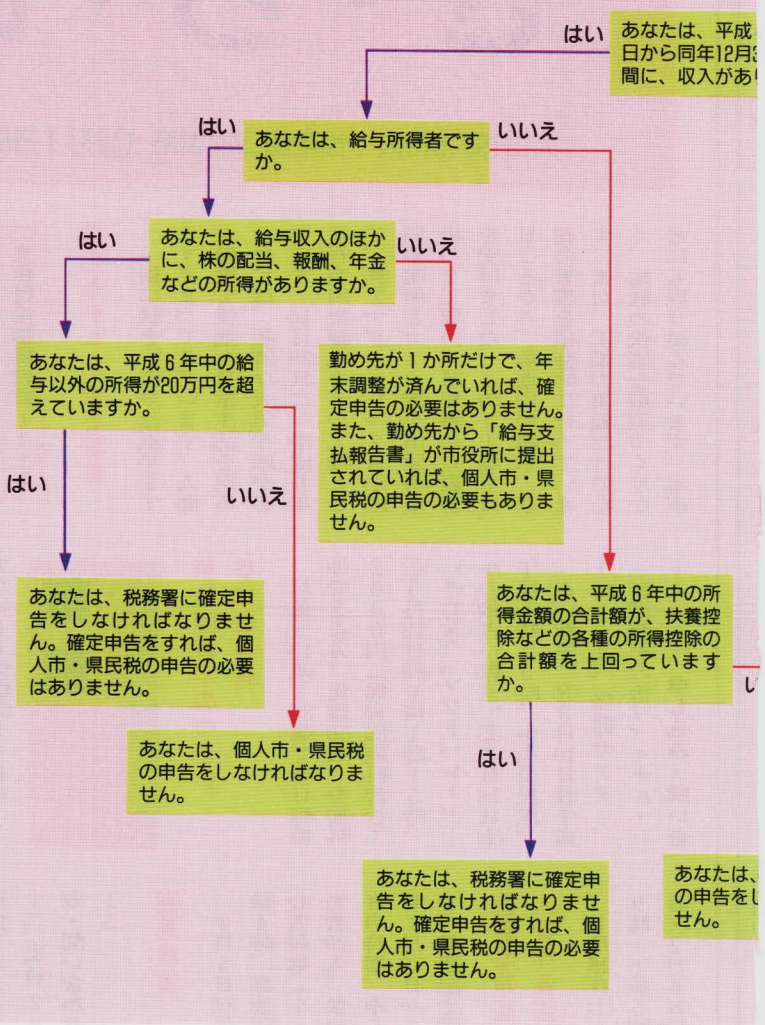
一方、東海道本線から取り残されたかたちの小田原も、大正九年（一九二〇年）十月二十一日には、熱海線の国府津～小田原間が開通し、大正十四年十月十五日には、大雄山鉄道の小田原（広小路）～大雄山（関本）間が開通した。さらに、昭和二年（一九二七年）四月一日には、小田原～新宿間の小田急線が開通した。また、丹那トンネルの開通によって、昭和九年十二月一日、小田原駅は東海道本線の主要駅となった。そして、昭和十年十月一日には、箱根登山電車も小田原に乗り入れるなど、小田原は箱根、熱海の玄関口として発展していった。



橋を渡る軽便（大正10年ごろ）

北方の領土かえる日 平和の日

私は申告するのかな？



詰てす、個人市・県民税の申告は、「確定申告」とは呼びませんが、申告の受付期間は、「確定申告」と同じ二月十六日から三月十五日までです。

②医療費控除を受ける人は、あらかじめ、かかった医療費の合計金額を計算しておいてください。なお、次のような経費は、医療費控除の対象になりません。ご注意ください。

・診断書の手数料などの文書料
・本人の都合や希望による特別室の室料
・病室のテレビ、棚などの備品使用料
・人間ドックなどの健康診断の費用（健診のみで、治療し引かれますので、金額を確かめておいてください。

③扶養控除は、平成六年中の所得が三十五万円以下の人を扶養していれば、その人の年齢に関係なく、適用を受けることができます。ですから、勤め先などでの扶養手当の支給対象や健康保険の被扶養者になっていない人でも、年間所得が三十五万円以下なら、控除を受けられます。

④二十歳以上で、仕送りを受けて下宿をしている人など、家族と別の世帯で暮らしている人は、平成六年中に所得がなく、郷里の家族の方の扶養控除の対象になっている場合でも、個人市・県民税の申告をお願いします。

ひとあし早いバレンタイントーク

21世紀の恋愛を考える

私たちは、さまざまな場面で「男」と「女」に分けられます。それは恋愛も同じ。ときどきゅうくつに感じませんか。もうすぐバレンタインデー。恋人たちの記念日をきっかけに、自分らしさ、人と人とのパートナーシップを考えてみませんか。

●日時 2月8日(水) 午後6時30分～8時30分
●会場 商工会議所会館
●講師 エッセイスト蔦(つた)森樹(もりたつ)さん
●内容 ①第1部 講演「男でもなく女でもなく」 ②第2部 愛についてQ&A
●定員 200人
●参加料 無料
●申し込み 電話で受け付け中（定員で締め切り）
※託児はお早めにご相談を
●申し込み・問い合わせ 女性行政室 ☎㉝1725



㉝1521 観光協会 ☎㉒5002

'95ミス小田原募集

小田原の魅力を発信



全国に小田原の魅力をあなたから発信してください。

●応募資格 市内に在住、在勤、または在学する18歳以上（平成7年4月7日現在）の未婚の女性（高校生を除く）で、向こう1年間に行われる観光行事や市の公式行事に参加できる方
●申込方法 応募用紙に必要事項を記入し、履歴書用写真（5センチ×5センチ）2枚を添えて2月20日(月)までにお申し込みください（郵送可）。
①第1次選考会（面接）
○日時 2月25日(土) 午後2時～6時
○会場 商工会議所会館
②最終選考会
○日時 4月7日(金) 午後5時30分から
○会場 中央公民館
●発表・認定式 最終選考会で「ミス小田原3人」を選び、認定式を行います。ミス小田原には、賞金のほか、数々の豪華賞品を贈ります。
●申し込み・問い合わせ 〒250小田原市城内1の21 小田原市観光協会（商工会議所会館内） ☎㉒5002

き・ら・め・き 情報

人口199,619人　世帯66,924世帯（12月1日現在）

CITY INFORMATION

お知らせ

みどりの実践団体に登録

地域の緑化を進めている市民の皆さんによる「グリーンライフサークル」4団体が、新たに県の「みどりの実践団体」として登録されました。これらの団体には、市・県による樹木苗の無償配布や技術の指導が行なわれます。これで全部で29団体になりました。▽穴部新田秋桜会▽飯泉南組清寿会▽芦子小花栽培サークル▽早川美化クラブ。

中小企業のための融資制度
受付期間を延長します

小田原市緊急経営安定特別資金
商工課 ☎33-1511

市役所けやき通り 2月6日(月) 地下歩道が開通

1月26日は文化財防火デー

文化財保護課☎33-1717

緑化モデル工場を表彰

「街に緑を」の声は近年ますます高まってきています。人間が健康で快適な日常生活を送るためには、新鮮な大気や緑が必要です。10月28日に、平成6年度神奈川県緑化モデル工場として、㈱アマダメトレックス小田原事業所とコニカ㈱小田原事業場の2工場が、県知事から表彰を受けました。この2工場では、日ごろから、敷地内の樹木、草花の管理を積極的に行っています。また、工場の美観だけでなく、地域の快適な環境づくりなどにも取り組んでいます。本市では、今回で15社の工場が表彰されました。

公共下水道へ流入を 排水設備工事は最寄りの公認業者で 資金貸付制度あり

下水道総務課☎33-1614

記念樹を植えよう

記念の街路樹を植えていただく「メモリアルロード」事業を行います。あなたの記念日を桜の木に託して、久野の丘に思い出の花を咲かせてみませんか。植樹場所＝小田原フラワーガーデン前の市道。樹木＝ソメイヨシノ（高さ3メートル）。3月上旬。対象＝市民、市内団体や企業。80人（組）（多数の場合は抽選）。参加の負担＝桜の苗代金1万円。申込方法＝官製はがきの裏に、住所・氏名・年齢・電話番号・記念の内容・それに「記念植樹参加」と書いて申し込みを。1月31日まで（当日消印有効）。問い合わせ〒250小田原市荻窪300番地 小田原市役所公園緑地課メモリアルロード係☎33-1586

募集

第11回青年のつどい 参加者募集

対象＝18歳～30歳で全日程参加できる方。先着30人。参加料2000円（傷害保険料含む）。①3月12日(日)午後1時～5時。いそしぎ。「ソフトバレーボールの後占い教室」②3月18日(土)午後1時～3時。中央公民館。「占い教室」③3月19日(日)午後1時～7時。保健センター。「料理教室の後ファイナル・パーティー」。**申し込み・問い合わせ**1月17日(火)から電話で青少年課☎33-1724

講演会・展示

母親クラブ大会へどうぞ

2月5日(日)午前10時～午後3時。保健センター、生きがいふれあいセンターいそしぎ。テーマ「夢はぐくむ、ラブリー家族」内容①午前 講演「女性の生き方」、講師は佐野美三雄さん（県立足柄ふれあいの村事務所長）②午後 模擬店・バザー。入場自由。**問い合わせ**青少年課☎33-1724

防災フェア開催

1月26日(木)・27日金午前9時～午後5時。市役所2階ホール。**問い合わせ**建築指導課☎33-1434

経済講演会

2月6日(月)午後1時～2時30分。市役所7階大会議室。演題「新年経済の見通しと経営課題」。講師は藤田太寅（たのぶ）さん（NHK「ニュース11」キャスター）。定員200人。**申し込み・問い合わせ**商工課☎33-1513

囲碁教室

2月5日(日)午前9時30分～午後4時。尊徳記念館研修室。初心者対象（小・中学生も歓迎）。先着20人。参加無料。筆記用具、弁当持参。**申し込み・問い合わせ**1月22日から直接または電話で。尊徳記念館☎36-2381

読書感想画コンクール 入賞作品展

1月28日(土)～2月9日(木)午前9時～午後5時（1月30日・31日・2月6日はお休み。1月29日は都合により開催していません。）かもめ図書館2階集会室。**問い合わせ**市立図書館☎24-1057

映画会

こども映画会

午後1時開場、1時30分上映、入場無料。先着順。かもめ図書館視聴覚ホール。①2月4日(土)「森の小さな冒険者リスのパナシ」（アニメ21分）、「吉四六どん」（アニメ19分）②2月12日(日)「杜子春」（アニメ22分）、「草原の子テングリ」（アニメ21分）。**問い合わせ**かもめ図書館☎49-7800

ブラックシアター

蛍光塗料を使った劇遊びです。2月5日(日)午前9時～11時30分。かもめ図書館。対象＝小学校1年生～3年生。先着20人。講師は小嶋慎子さん、柏倉秀一さん、西側恭二さん（図書館児童文化専門委員）。1月24日から、電話または直接申し込みを。**申し込み・問い合わせ**市立図書館☎24-1057

スポーツ

小田原地区実業団対抗駅伝競走大会

2月19日(日)午前9時6分、城山陸上競技場スタート。7区間33・7キロ。コース・通過予定時刻 ①**第1区**（4・9キロ）城山陸上競技場～市役所前～久野坂下交差点～上多古信号右折～扇町クリーンセンター前（9時22分ごろ）②**第2区**（3・2キロ）扇町クリーンセンター前～飯泉橋～飯泉信号右折～ダイクマ鴨宮店前～下府中小学校前～青果市場入口（9時32分ごろ）③**第3区**（6・7キロ）青果市場入口～富士見橋信号左折～田島石橋交差点～中河原信号左折～水道道～曽我ガーデンセンター右折～小田原球場（9時53分ごろ）④**第4区**（4・1キロ）小田原球場～根本商店前右折～下大井交差点～報徳橋～昭和運輸倉庫前左折～尊徳記念館（10時6分ごろ）⑤**第5区**（4・2キロ）尊徳記念館～螢田駅前～狩川橋先右折～大雄山線踏切～川崎陸送小田原営業所前（10時20分ごろ）⑥**第6区**（3・8キロ）川崎陸送小田原営業所前～水源池入口右折～県道小田原・山北線～旧道府川入口～環境事業センター前～総世寺前～舟原公民館（10時34分ごろ）⑦**第7区**（6・8キロ）舟原公民館～又渡橋～三国工業前～小酒部ストア前右折～熊沢工務店資材置場前～久野川橋信号右折～市役所前～藤井薬局前信号右折～城山陸上競技場（10時56分ごろ）。※事故防止のため、車による応援は一切禁止。**問い合わせ**体育課☎33-1733

郡市対抗駅伝競走大会

2月12日(日)午前9時。西湘地区体育センターから相模湖漕艇場まで。市内通過予定時刻西湘地区体育センター＝午前9時スタート、酒匂小学校前＝午前9時6分、親木橋＝9時10分、田島石橋交差点＝9時16分、市農協下曽我支店前（2区中継所）＝9時21分。ぜひ応援を。**問い合わせ**体育課☎33-1733

インディアカまつり

2月5日(日)午前9時～午後3時。西湘地区体育センター。当日の参加者でグループを作りゲームを楽しみます。初めての方歓迎。参加料600円。**問い合わせ**インディアカ協会梅本明☎47-3415

結果

中学生の主張発表

「第9回小田原市中学生の主張発表」が、12月10日、中央公民館で開かれ、発表者全員に青少年指導員協議会から優秀賞、関係団体から特別賞が贈られました。（敬称略）○小田原市青少年問題協議会長賞「心と心を結ぶ道」中山寿志（橘中）○小田原市教育委員会教育長賞「家族について」田中愛子（白山中）○小田原市中学校長会長賞「平和への願い」赤堀優作（泉中）○神奈川県西湘地区行政センター所長賞「人生について」嶋田綾子（城北中）○小田原市社会教育委員会議長賞「尾瀬ケ原にて」嵯峨理恵子（相洋中）○小田原市自治会総連合会長賞「真の国際交流とは」露木俊治（鴨宮中）○小田原地区保護司会長賞「嫌がってはいけないよ」広井孝行（片浦中）○小田原市PTA連絡協議会長賞「戦場の家族」駒井かの子（国府津中）○小田原市青少年補導員協議会長賞「家族は〝宝もの〟」渡辺美穂（白鷗中）○小田原市母親クラブ連絡会長賞「これからの日本社会」組橋富美子（酒匂中）○小田原市更生保護婦人会長賞「家族について」椿由香（城山中）○小田原市青少年指導員協議会長賞「高齢化福祉は家族の手で」白木元（千代中）・「親のありがたさを知った私」岡田勝人（小田原市青少年指導員協議会推薦）

リサイクル情報

譲りたい品・譲り受けたい品を登録しています。

●**受付日時** 毎月10日・20日（休日の場合はその翌日）午前9時～正午

●**受付方法** 直接または電話で、市民生活課☎33-1396、ふらっとスポット☎24-3731まで

●**その他** 登録だけで物品のお預かりはしません。物品の引き渡しやその後に発生したトラブルは、当事者間で解決してください。

●**現在の情報**

①譲ってください ・アップライトピアノ（演奏できるもの、色指定なし）・ベビーカー・赤外線治療器（神経痛治療に使用）・ミニバイク（婦人用50cc、できればホンダのラッタッタ）・ミシン（足踏み式・ブラザーミシン、電動式）・ベビーバス・妊婦服（11号）・食器戸棚

②譲ります ・老人用手押し車・エレクトーン（ヤマハFE50・取りに来られる方）・スキーバッグ（新品同様・リュック型）・正絹袋帯（新品・皮のジャケット（黒色・9号）・エレクトーン（ヤマハ・10年使用・取りに来られる方）・バイク（3輪50cc・88年式・ホンダジョイ）・ベビーカー（双子用）・電気の傘（新品）・電気毛布（新品）・石油ファンヒーター（新品同様）・ダブルベッド

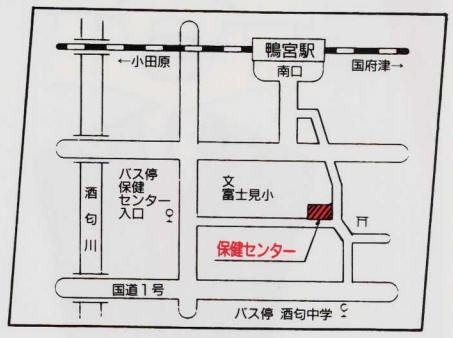
●**問い合わせ** 市民生活課☎33-1396

記事の中の✆印の番号は、くらしのテレフォンガイドのサービス番号です。☎33―1266に電話をかけ、案内に従ってこの番号をダイヤルすると案内を聞くことができます。休日や夜間でも利用できます。

広報おだわら
ODAWARA PUBLIC INFORMATION

けんこうコーナー

○問い合わせ・申し込みは保健センターへ ☎㊼0820



○成人病予防 570～576

40歳以上の方に、基本健康診査、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診の平成6年度「**受診券**」をお送りしました。

今年度、職場などで健康診断をしていない方は受けてください。

●基本健康診査・がん施設検診

○対　象　40歳以上

○場　所　健康カレンダー掲載の取扱医療機関

○持ち物　受診券、保険証、医療受給者証（高齢者の方）

○受診料　基本健康診査＝無料（精密診査を行った場合は1000円）／肺がん検診＝100円（喀痰検査を行った場合は200円）／大腸がん検診＝600円／子宮がん検診＝1000円／子宮体部がん検診（問診で医師が必要と認めた方のみ）＝1700円／乳がん検診＝400円

●30歳代婦人がん検診

医療機関で受けられます。保健センターまで電話でお申し込みください。

○予防接種 550～554

予防接種法が改正されました。接種を受ける前に、予防接種会場や医療機関に備えてある「予防接種と子どもの健康」をぜひお読みください。

接種には、母子健康手帳を忘れずにお持ちください。

集団接種

●ツベルクリン反応とBCG

○対　象　3か月～4歳未満児

○日　程　1月17日(火)ツベルクリン反応検査／19日(木)判定とBCG／2月21日(火)ツベルクリン反応検査／23日(木)判定とBCG

○時　間　午後1時30分～2時30分

○会　場　保健センター

個別接種

健康カレンダーに掲載の取扱医療機関で接種できます。

●三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）

○対　象　1期＝3か月～4歳未満児／2期＝5歳6か月未満児

○接種間隔　1期＝3～8週間隔で3回接種／2期＝1期の3回目終了後1年～1年半の間に1回接種

●麻しん（はしか）

「はしか」の予防接種は早めに済ませておいてください。

○対　象　1歳～6歳未満児

○献血 582

献血は、皆さんの善意によって支えられています。ぜひご協力ください。

○日　程　1月23日(月)午前＝豊川支所・午後＝井細田公民館／24日(火)午前＝町田公民館・午後＝小田原保健所、26日(木)午前＝根府川公民館・午後＝箱根板橋駅、28日(土)・2月9日(木)・16日(木)・24日(金)小田原駅東口

○時　間　午前10時～正午　午後1時～3時

○もよおし

●育児教室（電話申込制）

体操「親子でやさしく楽しく遊びましょう」

○日　程　2月13日(月)

○対象・時間　1歳代の幼児と保護者＝午前10時～10時30分／2歳以後の幼児と保護者＝午前10時50分～11時20分

○場　所　保健センター

○講　師　野川エミ子さん・梅田マサ子さん（体育指導委員）

●動脈硬化を防ぐ教室（電話申込制）

○対　象　動脈硬化、コレステロールの気になる方や関心のある方　40人

○日時・内容　1月30日(月)午後1時30分～4時　講話「動脈硬化とは」／2月6日(月)午前9時30分～午後1時　講話「食生活について」と調理実習／13日(月)午後1時30分～4時　講話「日常生活・運動について」と個別相談

○場　所　保健センター

○講　師　山田伸夫さん（小田原医師会）、保健婦、栄養士

●栄養教室（電話申込制30人）

○日　時　1月26日(木)午前10時～午後1時

○内　容　講話「ストレス解消の食事」と調理実習

○場　所　尊徳記念館

○持ち物　エプロン・ふきん

●マタニティクラス（4日間コース）

○対　象　妊婦　4日目は、パパも一緒にどうぞ

○日　時　2月1日(水)・8日(水)16日(木)・20日(月)午後1時20分～4時

○場　所　保健センター

○持ち物　母子健康手帳

●妊婦体操（電話申込制）

妊娠前期・後期の2グループに分かれて行います。

○対　象　妊婦

○日　時　2月27日(月)午後1時20分～4時

○場　所　保健センター

○持ち物　母子健康手帳、体操のできる服装

すこやかノート 1月

処方せんをもらったら



病院や診療所で処方せんをもらうと、あなたはどこの薬局に持って行きますか？

A病院に掛かった時は病院前のB薬局、C診療所に掛かった時はD薬局と、別々に調剤してもらっていませんか。

別々ですと、薬剤上の重複や相互作用が、きちんとチェックできません。

そこで、家の近くに「掛かりつけの薬局」を決めて、どこの医療機関からの処方せんでも、その薬局で調剤してもらったらどうでしょう。

薬局は、あなたの体質や飲んでいる薬などを記録し、処方せんを受け付けた時には、その記録をもとに薬の相互作用や重複などをチェックしながら調剤します。疑問点があれば、処方せんを出した医師や歯科医師に問い合わせるなどして、あなたが安心して薬が飲めるよう気を付けてくれます。医薬分業制度」の目的もここにあります。

薬について、いつでも何でも相談できる「掛かりつけ薬局」をつくっておくことをお勧めします。薬の相談相手として、大いに薬局を活用してください。

最後に、処方せんで出された薬は、あなただけのものです。症状が似ているからといって、家族や他人に譲ることは、絶対にやめてください。

保健所だより

小田原保健所 ☎㉒3135

●1～2歳児歯科検診

○日　時　1月26日(木)・2月2日(木)・16日(木)、毎回午前9時～10時30分

○持ち物　母子健康手帳と歯ブラシ

●歯ぐきの健康相談・妊婦歯科相談（電話予約制）

○日　時　2月3日(金)午前9時～11時

●精神保健相談（アルコール相談を含む・電話予約制）

○日　時　1月19日(木)、2月2日(木)、毎回午後1時～3時

●思春期・痴ほう老人相談

○電話相談　毎週月曜日～金曜日、午前9時～午後4時

○個別面接相談（電話予約制）　1月26日(木)・2月9日(木)、毎回午後1時30分～4時

●外国籍県民結核健康診断（電話予約制）

日本語の分からない方は、なるべく通訳のできる方と一緒にお越しください。身分証明などのチェックはしません。

○日　時　1月23日(月)・2月13日(月)、受付時間午前9時～10時30分

○対　象　外国人登録をしている方

○診断料　無料

※以上、会場はいずれも小田原保健所

●食品衛生責任者講習会

平成6年4月1日以降まだ受講していない方は、必ず受けてください。

○日　時　2月17日(金)午後2時～4時

○会　場　中央公民館大ホール

○内　容　食中毒の防止について

○持ち物　食品衛生責任者手帳と筆記用具

○問い合わせ　食品衛生課

＊車での来場はご遠慮ください。

市民プラザ

ガールスカウト募集

●活動内容＝ハイキング、野外料理、キャンプ、奉仕活動、室内で集会（月1～2回日曜日午前10時～正午、新田公民館）など●対象＝小学校1年生～6年生（平成7年度）●問い合わせ＝門松☎㊼4512

お知らせ

平成7年4月から、健康に関するご相談や、保健センターの利用申し込みは、月曜日から金曜日までの、午前8時30分～午後5時のみになります。

○乳幼児健診 2月 561～564

持ち物：母子健康手帳、1歳6か月児・3歳児は歯ブラシ

※7か月児と1歳6か月児健診では、1人目のお子さんに集団指導を行います。受付開始時刻までにお集まりください。

※3か月児・3歳児健診を受ける場合、母子健康手帳の診査票に必要事項を記入してください。

※1歳6か月児・3歳児健診時に、歯科健診を行います。また、3歳児健診には尿検査もあります。

健診名（生まれ年月）	会場 時間	生まれた日 実施日			
3か月児（6年10月生まれ）	小田原保健所 13:00～14:00	1～9 2日	10～15 9日	16～23 16日	24～末 23日
7か月児（6年6月生まれ）	保健センター 13:00～14:00	1～9 2日	10～15 7日	16～23 14日	24～末 22日
1歳6か月児（5年7月生まれ）	保健センター 13:00～14:00	1～9 3日	10～15 10日	16～23 17日	24～末 24日
3歳児（4年1月生まれ）	小田原保健所 13:00～14:00	1～10 7日	11～20 14日	21～末 21日	

○休日診療カレンダー

受付　午前9時30分～11時30分
午後1時～3時30分

健康保険証をお忘れなく！

		内科	小児科	耳咽喉科	眼科	歯科
1月	15日(日)	○	○		○	○
	16日(月)	○	○	○		○
	22日(日)	○	○	○		○
	29日(日)	○	○	○	○	○
2月	5日(日)	○	○	○	○	○
	11日(土)	○	○	○		○
	12日(日)	○	○	○		○
	19日(日)	○	○		○	○
	26日(日)	○	○	○		○

準夜間診療〈内科・小児科〉の受付は、毎日午後7時～10時
●休日夜間急患診療所　☎㊼0823
●休日急患歯科診療所　☎㊼0825
●休日夜間急患調剤薬局　☎㊼0826

元気のもと 片浦レモンの即売

片浦レモン研究会では、安全で健康的なレモンの低農薬栽培に取り組んでいます。今回、消費者の会の協力で、健康レモンなどの即売をします。どうぞお越しください。

●日　時　2月3日(金)・4日(土)午前10時～午後3時

●場　所　㈱西武百貨店志澤店頭

●問い合わせ　農政課　☎㉝1499

小田原競輪 1月25日～27日 2月15日～17日

周辺道路交通規制日

一一〇番あなたの街のディフェンダー ——相談は専門ダイヤル#9110

市職員給与のあらまし

市では、市民の皆さんの福祉向上を目指して、約二千三百人の職員が、医療、福祉、土木、消防などさまざまな分野で働いています。

今回は、市職員の給与などについて、そのあらましをお知らせします。

●**問い合わせ** 職員課 ☎㉝1241

給与決定のしくみ

職員の給与は、地方公務員法などにより、国家公務員や他の市町村の職員の給与、民間企業従業員の給与、生計費などを考慮して、市の条例で定めています。

給与の種類と内容

職員に支給される給与は、基本給としての給料と扶養手当、通勤手当などの職員手当からなっています。

㈠毎月決まって支給されるもの

①給　料 職種や職務に応じた給料表に定める額

②調整手当（六年四月一日現在）民間の賃金、物価、生計費の事情を考慮して支給される手当

○支給率　一〇%（国は三%）
○対象職員　全職員
○一人当たりの平均支給　月額＝三万三〇四三円（五年度）

③扶養手当

○配偶者　一万六七〇〇円
○配偶者以外の扶養親族のうち二人まで　六八〇〇円
○配偶者のない職員の扶養親族のうち一人　一万一二〇〇円
○その他の扶養親族　二〇〇〇円
○十六歳～二十二歳の子の加算　一〇〇〇円

④住居手当

○借家借間の最高支給額　二万九〇〇〇円
○持家　一万五〇〇〇円

⑤通勤手当

○交通機関利用者の最高支給額　四万五〇〇〇円
○交通用具使用者　距離に応じ三〇〇〇円～二万九〇〇円

⑥管理職手当　管理職の職責に応じ給料の一七～二〇%

㈡勤務した実績に応じて支給されるもの

①時間外勤務手当　正規の勤務時間を超えて勤務したときに支給される手当

○一人当たり平均支給月額
・五年度＝二万八四一五円
・四年度＝二万九五八七円

②特殊勤務手当　著しく危険、困難、不健康な業務などに従事したときに支給される手当（二十三種類）



○職員全体に占める支給職員の割合＝五七・〇%
○一人当り平均支給月額＝一万一二三円
○主な手当
・支給額の多い手当＝医師手当、診療手当
・多くの職員に支給されている手当＝看護手当、清掃作業手当、特殊施設勤務手当、現場技術手当

㈢その他　宿日直手当など

①期末・勤勉手当（五年度）
○六月期　二・二五月分
○十二月期　二・七〇月分
○三月期　〇・五〇月分
○合計　五・四五月分

②退職手当
○自己都合
・勤続二十年＝二一・〇月分
・勤続三十年＝三三・七五月分
・勤続三十五年＝四七・五月分
・最高限度＝六〇・〇月分
○定年・勧奨
・勤続二十年＝二八・八七五月分
・勤続三十年＝四四・五五月分
・勤続三十五年＝六二・七月分
・最高限度＝六二・七月分

時の顔

絵・近藤信一



世界のホームランキングの球界復帰で、ストーブリーグが熱くなってきました。

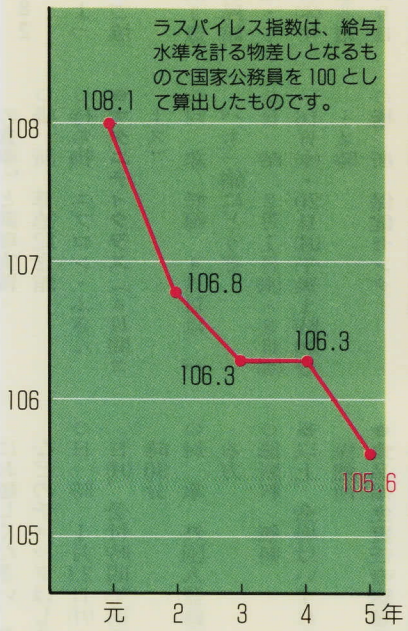
チームメイトであり良きライバルだった長嶋監督との「対決」が、早くも野球ファンの胸を躍らせています。

王　貞治（プロ野球監督）

給与などの状況



ラスパイレス指数の推移



①平成5年度人件費（普通会計決算）

人口は平成6年3月31日現在

住民基本台帳人口	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費比率(B)/(A)	4年度人件費比率
197,234人	711億8,849万円	25億3,713万円	141億8,254万円	19.9%	24.1%

②平成6年度職員給与費（一般会計当初予算）

職員数	給与費			
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計
1,634人	61億2,504万円	20億4,582万円	33億7,511万円	115億4,597万円

③職員の平均給料月額、給与月額及び年齢

平成6年4月1日現在

団体区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料	平均給与	平均年齢	平均給料	平均給与	平均年齢
小田原市	321,591円	439,613円	39.9歳	295,874円	376,221円	47.6歳
神奈川県	343,160円	456,872円	40.8歳	312,936円	401,404円	46.7歳

㊟平均給与とは、給料と調整手当、扶養手当などの職員手当を合算したものをいいます。

④一般行政職の初任給

大学卒欄の県は上級

平成6年4月1日現在

区分	小田原市		神奈川県	
	初任給	採用2年後	初任給	採用2年後
大学卒	178,400円	191,400円	171,500円	185,100円
高校卒	149,800円	164,900円	139,300円	149,800円

⑤一般行政職の経験年数別・学歴別給料月額

平成6年4月1日現在

学歴区分	経験10年	経験15年	経験20年
大学卒	267,000円	309,700円	365,900円
高校卒	226,900円	274,900円	317,700円

⑥一般行政職の級別職員数

平成6年4月1日現在

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
標準的な職務内容	事務員 技術員	事務吏員 技術吏員	主任	主査	係長 担当主査	主幹	課長 課長補佐	部長 次長 参事	
職員数	62人	247人	93人	276人	156人	68人	96人	30人	1,028人
構成比	6.0%	24.0%	9.1%	26.9%	15.2%	6.6%	9.3%	2.9%	100.0%
1年前	6.8%	22.3%	9.3%	27.2%	16.0%	6.4%	9.0%	3.0%	100.0%

⑦部門別職員数の状況

各年4月1日現在

部門	平成4年度	平成5年度(A)	平成6年度(B)	増減数(A)−(B)
一般行政部門	1,076人	1,088人	1,079人	△ 9人
教育	338人	326人	328人	＋ 2人
消防	206人	215人	215人	0人
病院・水道等	700人	704人	716人	＋ 12人
合計	2,320人	2,333人	2,338人	＋ 5人

㊟　職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時・非常勤職員を除いている。

⑧特別職の報酬などの状況

平成6年4月1日現在

区分		給料月額等
給料	市長	948,000円
	助役	788,000円
	収入役	683,000円
報酬	議長	556,000円
	副議長	483,000円
	議員	448,000円
期末手当（5年度）		5.43月分